



令和3年9月1日発行

発行所 あゆみクリニック  
〒344-0023  
埼玉県春日部市大枝400-4  
TEL 048-731-3283  
http://www.ayumi-clinic.com

# 9月~11月の予定



9月							10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4					1	2		1	2	3	4	5	6	
				休診							休診					3連休の日 休診	休診			
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
休診				休診			休診				休診		休診				休診			
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
休診				休診			休診				休診		休診				休診			
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
休診	休診			休診			休診				休診		休診	休診			休診			
26	27	28	29	30			24休日 当番医	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
休診				休診			31休診				休診		休診							

★9/20(月)敬老の日:休診

★10/24(日):休日当番医  
9:00~17:00

★11/3(水)文化の日:休診  
★11/23(火)勤労感謝の日:休診

## ブレークスルー感染と 予防、診断、治療

オリンピックが1年遅れで「東京2020」として無観客で行われ、かつて無い金27個、銀14個、銅17個、合計58個と米国、中国に続く快挙の成績を残しました。その一方で、無観客とは言え、オリンピック開催の開放感や海外からの多くの選手やスタッフの流入もあり、新型コロナウイルス感染流行が第5波として急上昇し、かつて無い大型の第5波流行として、今だかつて無い医療崩壊の現状に私達医療従事者は向き合う事になりました。

その一方で、8月24日(火)からはパラリンピック大会が更に開催となりました。既にスタッフの感染者が多数出ているとの事です。このまま第5波が増加してしまつたら日本の医療はどうなるのでしょうか？

現在、関東圏では検査数がMAX状態となり、検査して貰えない感染者や無症状感染者が拡大中と言われています。そして、感染拡大は地方の津々浦々まで拡がりつつあります。地方の医療体制は都市部と比べると貧弱です。このまま感染拡大すると地方まで大変な医療崩壊に陥っていきます。

8月号のクリニック通信で「第5波において注意する事」を皆さんに提案させていただきましたが、その中で、2回ワクチン接種してから2週間以上が経過してコロナに感染している人(ブレークスルー感染)が時々見られますが、それを避ける為に「マスク、手洗い、うがい、密を避ける」などの日常生活の留意が大切ですね。ブレークスルー感染の事を聞くと「感染するならワクチンは意味がないじゃないか？」と安易に考える人はいると思いますが、統計を見ましても、**ワクチンの効果は絶大なもの**なのです。ワクチン接種前は2.73%の陽性率だったのが、ワクチン接種後のブレークスルー感染率は0.2%の

- 新型コロナウイルスの流行状況により、予告なく診療時間など変更になる場合がございます。ご迷惑をお掛け致しますが、予めご了承下さい。
- 火曜日の午後は休診となります。(受付10:30まで)
- 土曜日の午後は休診となります。(受付12:00まで)
- 月、水、金の午後はコロナウイルスワクチン接種の為、15時で受付終了となります。
- アトピー性皮膚炎初診の方は、受付1.5時間前までに受診してください。
- 慢性疾患(高血圧・高脂血症・糖尿病・喘息など)の方は予約診療をお受けください。
- 点滴を希望される方は受付終了1時間前までにお申し出ください。

### 診察の順番について

ご予約の方2名に対して、急患や予約の無い方を1名、診察の順番に入れさせていただきます。



★予約無しでも診察の順番は回ってきますが、ご予約をお勧めします。

### クリニックからのお知らせ

以下の診察を希望の方は**受付時間にご注意下さい**  
 ●糖尿病初診の方 ●舌下療法初診の方 ●点滴希望の方  
 午前受付:11時まで(火曜日は10時まで) 午後受付:15時まで  
 糖尿病・舌下療法初診の方は指導等にお時間がかかりますので必ずこの時間までに受付をお済ませください。

### 《鍼灸担当》

諸岡 真由美 先生  
 診察時間:土曜日  
 受付時間:9:00~12:15  
 今月も宜しくお願いします!

陽性率です。その差は13分の1以下になっているのです。これは大きな違いです。ましてや第5波は感染者数の母数が大きくなり、デルタ株が98%以上を全国的に占めてきていますので、その感染力が従来株の1200倍と言われています。全国津々浦々に感染拡大するのうなずける所です。今アメリカやイスラエル、イギリス、フランスなどの現時点での感染拡大は、この強力な感染力によるブレークスルー感染とワクチン未接種者の感染、そして接種後の抗体が減弱した人の感染なのです。

また、ワクチン接種の効果を考えてみますと、65歳以上の高齢者の重症化がほとんど見られなくなってきたという事です。今、重症化が目立つのは、50代、40代のワクチン未接種者です。ですから、50代、40代のワクチン接種が急がれます。

また、若くても基礎疾患(高血圧、糖尿病、肥満、喘息、肺疾患、リウマチ、膠原病など)がある方の重症化も問題になっていきますので、ワクチン接種を急いでください。しかし、実際ワクチン接種してない人が次から次へと感染してきますので、30代以下の若い人、10代のワクチン接種可能年齢者(12歳以上)には皆打って欲しいというのが本音です。12歳未満はまだワクチン接種許可がありませんが、現場では大変な事になっています。家庭内感染がデルタ株では容易なので、生後1ヶ月のお子さんから、小学生まで、非常に感染率が高く、その上小学生や保育園ではクラスターも発生しています。9月から学校が始まり子供達が接触する事によってまた感染が広がる事を考えると、9月以降も予想外のすさまじい状況が起きる事が予想されます。

先日、千葉県で妊娠8ヶ月の妊婦が入院を受け入れてもらえず、自宅出産し、新生児が死亡するという痛ましい事件がありました。それを受けて、千葉大学病院では妊婦の為の病棟を増設しました。

これは、新生児だけの問題ではなく、0歳~12歳の小児にも今後どんな危険が及び寄って来るかもしれないという事なのです。

今、米国やヨーロッパでは、ワクチン接種した人達はブレークスルー感染しても重症化しないという事が分かって来たという事で、かなり行動制限がなくなりつつあり、経済復興している様です。しかしその一方で、免疫が切れてしまつたので、ブースター接種(3回目の追加接種)に動き出しています。それに對して、WHOでは、ブースター接種にワクチンが流れていくと、更に発展途上国へのワクチン供給が遅れて、先進国との格差の拡がりにつながるの、警告を発しています。

現在のところ、ファイザーとモデルナのmRNAワクチンが最も有効なワクチンですのでこのワクチンは前にも言いましたが、ノーベル賞に値するもので

### あゆみクリニック PCR検査から診察までの流れ

予約・受付方法

インターネット (<http://www.ayumi-clinic.com>) かお電話にて必ずご予約の上ご来院ください。  
受付は歩きや車にかかわらず、クリニックの裏口にて、入室せずにインターホンを押してお待ちください。

歩き・車（薬希望あり） でご来院の場合	お車（薬希望なし、検査のみ） でご来院の場合
 <b>プレハブに移動</b> クリニックの隣に設置してあるプレハブ診療室にてPCR検査を実施します。	 <b>駐車場に移動</b> クリニックより車で1分の所にある駐車場にて、車に乗ったままPCR検査を実施します。 <small>※駐車場ではエンジンを止め、お手洗いで車の出入りも禁止です。お手洗いは駐車場へ移動する前にクリニック横に設置してある仮設トイレにてお済ませの後移動して下さい。</small>

検査結果のお知らせ

月、火、水、金 ・14:00までの検査結果 ⇒ 当日  
 ・14:00以降検査分 ⇒ 翌日昼頃  
 土曜日の検査結果 ⇒ 翌日の昼頃

その後の治療

PCRの結果で陰性の場合、2日以内（中1日）であれば通常の患者さんと同じように受付いたしますので診察券をお持ちになり、ご来院ください。

## ワクチン接種会場

↑至旧4号

かもめ薬局  
中華料理店

床屋  
あゆみクリニック  
第1駐車場  
アパート

PCR検査所

14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

進入禁止  
一般外来  
駐車場

ワクチン接種用  
臨時駐車場

ワクチン特設  
プレハブ診察室

山口マンション  
民家 民家

スーパーバリュー

ワクチン接種はいつもの第2駐車場の特設プレハブ診察室にて行います

すそのワクチンを打てる日本人は本当にラッキーなのです。これも国力と外交力により日本が購入できるからなのです。

当院では、診断、治療をする傍ら、予防する事がどれ程大切な事かと考えていますので、**ワクチン接種のスピードと体制はワクチンが供給される限り続けて行く所存です。**

その一方で、今一番問題視されているのは**治療**です。自宅療養者がうなぎ登りに増えて行く状況で、入院できない肺炎患者の方が多数いらっしゃる、自宅療養中に急変しない様に**在宅酸素の設置**を行う必要性があります。当院でも8月お盆明けより10名以上の方々に酸素設置を行いました。入院して、まず行う事が酸素投与ですし、その治療を早めに在宅で行う事によって重症化を防ぐ事が出来れば何よりです。

肺炎になる方は大体、発症してから1週間以上経過している方々ですので、抗体カクテル療法の適応はありません。それよりも**レムデシビル**や**ステロイド**の点滴療法を在宅でできる様になれば良いのですが、その治療の**為の療養病床建設、増設**が今急がれています。

**抗体カクテル療法は発症から5日以内に施行して、重症化を防ぐ為**に軽症、中等症のハイリスク患者に施す事がベストですから、コロナ診断をしている**開業医レベルの現場で利用できるのが、今の医療逼迫状況では必要だ**と思います。

今あゆみクリニックでは、1日中、PCR検査の**為の方が押し寄せて**います。その一方で、**慢性の基礎疾患の方々の診察と健診も**行っています。7月号でもお話ししました様に、**コロナ禍で癌が重症化して手遅れになる事**が、医療者としては懸念する事項の一つなのです。感染爆発している状況では、慢性の方々には**通院周期を長めに**していただき、一方で、**年に1回健診は必ず**しよらずに**必ず10月末までに受けて**いただきたいと思えます。そして、慢性基礎疾患の方、健診の方、PCR検査及び発熱外来の方はなるべく**午前中の受診を原則とし、午後は保健所からの依頼も多い、陽性者の肺炎の診断や治療を中心に行い、夕方は予防接種業務と、時間の住み分け**を行いなから今の医療崩壊の現場を乗り越えていきたいと思います。

当院スタッフも1年半に及ぶ災害医療に辟易としていて、私を含め忙しさの中充分な対応ができない事も多々あると思えますが、どうかご理解ご協力の程をお願い申し上げます。

### 新型コロナワクチン接種カレンダー

※ご予約方法など詳細はクリニック通信夏の臨時増刊号を御覧下さい

7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				
9月							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4					1	2	
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30
							31						

9:30~17:30    14:00~18:00    16:00~18:00

※平日  
\*9月 16:00~17:30  
\*10月 16:00~17:00

あゆみクリニックで**抗体検査**しませんか？  
 予防接種後、抗体がある事が分かれば**感染への不安が軽減**されます！

### コロナ抗体検査

採血でわかる！  
指先からの微量採血で簡単に検査できます！

郵送で結果をお知らせ！

検査費用  
2つ同時検査(IgM抗体、IgG抗体)  
5,500円(税込)  
時間特別割引8/3より平日12:00~14:00に限り  
3,000円(税込)

予防接種後1か月後がオススメです！

予防接種をして抗体が残っているか心配

持病(心臓病、喘息、糖尿病など)があり、新型コロナが心配

予防接種でコロナの抗体ができたか心配

受付  
封筒にお名前をご記入下さい

採血検査  
微量採血を指先から行います

郵送  
1週間程で結果を郵送でお知らせ

### 抗体検査についての注意点

抗体検査では**IgG陽性**であれば、抗体ができていると判定します。IgM抗体の有無はあまり問題視しません。

抗体が消失するのはワクチン接種後6~8ヶ月と言われてはいますが、ワクチン接種後の抗体の**出来方、減り方**もかなり**個人差**があります(体質や免疫力により)。ワクチン接種後6ヶ月を過ぎたら抗体が消失していないかの確認もしてみると良いと思います。

新型コロナ感染後抗体が出来たかの確認をする方も沢山います。**コロナ感染の重症度**によって、**抗体の強さや持続期間**にかなり差が出ます。感染後の予防接種は**回復後1~3ヶ月**が適度とされていますが、肺炎など中等症以上だった人は**3~6ヶ月**後のワクチン接種が適当と思われるます。

新型コロナウィルスワクチンの予防接種をすると抗体ができるといわれています。抗体がある事で、感染するリスクが少なくなります。

